

茂木敏充外務大臣の日米貿易協定の附属書についての発言に関する質問主意書

提出者 今井雅人

茂木敏充外務大臣の日米貿易協定の附属書についての発言に関する質問主意書

茂木敏充外務大臣は、二〇一九年十月十一日の衆議院予算委員会において、日米貿易協定の附属書二の一般的注釈7にある「ファーザーネゴシエーションズ ウイズ リスペクト ツー ザ エリミネーション オブ カスタムズ デューティーズ」の和訳について、「ウィズ リスペクト ツー」であり「リガーディング」ではないので、「関税撤廃というものを前提として、その時期がいつになるかについて今後協議をする、これが正しい英語の読み方」という答弁をされています。このことを踏まえ、以下質問します。

一 「ウィズ リスペクト ツー」と「リガーディング」の二つの言葉は同義語であると考えますが、なぜ「リガーディング」ではなく「ウィズ リスペクト ツー」であるに関税撤廃が前提ということになるのか、二つの言葉の日本語の意味を、政府の見解として示されたい。

右質問する。